

第1期上下水道事業経営委員会（第4回）の主な質疑

【HP版】

平成28年2月23日（火）9時30分～11時30分

上下水道局3階301会議室

質 疑	答 弁
【1 平成28年度予算（案）概要】	
A 委員	<p>水道事業会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計において、国庫補助金が大幅に減少しているが、全体的に国庫補助金が減少傾向なのか。</p> <p>上下水道局</p> <p>①水道事業 - 老朽鋳鉄管工事は事業金額の1/3が補助対象となる。平成28年度までに老朽鋳鉄管工事を進めていく計画のなかで、平成28年度は事業が減少することに伴い、国庫補助金の減を見込んでいる。</p> <p>②簡易水道事業 - 主に南部簡易水道にかかる事業として、事業金額の1/3が補助対象となる。南部簡易水道に関する事業の減少に伴い、国庫補助金の減を見込んでいる。</p> <p>③下水道事業-下水道事業については、補助対象事業費の約1/2が補助対象となる。ポンプ場や下水道施設整備に関する事業の減少に伴い、国庫補助金の減を見込んでいる。</p>
B 委員	<p>①水道事業と簡易水道事業の統合は、経営側として事業の効率化というメリットはあると思うが、市民側として水道料金の変更になるなどの影響はあるのか。</p> <p>②統合により、「簡易水道」はなくなるのか。</p> <p>上下水道局</p> <p>①水道料金については、水道事業と簡易水道事業で料金が同一のため、統合による料金の変更はない。</p> <p>簡易水道事業においては、経営基盤が脆弱で、ここ近年は赤字決算が続いている。また、施設の老朽化も進んでおり、単独での事業経営が難しくなっているため、統合を計画している。国も水道事業との統合を推進しており、平成28年度までに統合することを条件に、整備事業に対して補助金を交付しているところである。</p> <p>②簡易水道はなくなり、すべて水道事業となる。</p>
C 委員	<p>四国（香川県）では、県を含めた市町村間での水道事業統合の動きがある。また、縦割り行政による防災対応の弊害や人口減少傾向での事業経営という側面から、富山県内でも市間や県との事業統合について考えていくべきではないか。</p> <p>上下水道局</p> <p>県西部地区は、水道用水供給事業について一体的に運営している。県下統一水道に関しては、昭和40年時点で計画があったものの、各市町村間での種々の事情の違いにより、今現在統合には至っていない。防災や事業経営のことを考えると、県西部だけでも統合できればよいという実務担当者レベルでの思いはある。</p>
【2 国吉配水池の震災対策について】	
B 委員	<p>小矢部川水管橋や庄川水管橋が機能不全となった場合、市内への給水に与える影響は大きいのか。</p> <p>上下水道局</p> <p>小矢部川水管橋に関しては、国吉配水場の水を能町ポンプ場を通して伏木地区に配水する役割があるが、その他にも口径は小さいが小矢部川を渡っている水道管がある。</p> <p>庄川水管橋に関しては、機能不全時の影響は非常に大きい。すでに耐震補強を施してあ</p>

			るが、機能不全時には佐野の自己水源を最大限使用することとなる。
B 委員	災害連絡管とは何か。	上下 水道局	射水市・砺波市・氷見市との境界にそれぞれ災害連絡管がある。地震災害等の非常時に自治体間で水を融通するための管であり、平常時は閉じている。
D 委員	非常時の緊急遮断弁等の開閉は手動によるものか。	上下 水道局	緊急遮断弁は、非常時に配水池内の水の流出を防ぐためのものである。配水場内 2 池のうち 1 池について緊急遮断弁を設置し、非常時には自動的に遮断することで、水の確保を行う。他方の 1 池については、電動弁を設置しており、上関庁舎集中管理室から遠隔操作により開閉を行う。
B 委員	緊急遮断弁作動時は、給水車の出動が必要になることもあるが、給水車や給水タンクはどの程度備えているのか。	上下 水道局	専用の給水車 1 台をはじめ、給水タンク積載トラック 3 台、2 m ³ ・1 m ³ ・500ℓの給水タンクを 4 基ずつ常備している。 また、大規模災害時には日本水道協会や災害協定都市を通して全国から給水車が出動する。
E 委員	給水車は、普段どこにあるのか。	上下 水道局	給水車は、上関庁舎にある。非常時は上関庁舎の水を取水し、応急給水に使用する。
【3 上関配水場集中監視設備更新工事について】			
B 委員	監視の中には、水質監視だけではなく水圧監視も含まれるのか。	上下 水道局	通常は色度・濃度・残留塩素の 3 項目を監視している。重要視される地域においては、配水圧を監視している。
C 委員	設備の新設・更新に伴い、メンテナンス等経費の増加が予想される一方、効率的な運用が可能になることで経費減少を見込める部分もある。長期的な視点に立った場合、経費は増加するのか減少するのか。	上下 水道局	今回の更新工事は水道水の安全性を確保することを最優先としたものである。長期的に経費が増大するか減少するかは、詳細な見込みや予測の積上げとなるため、一概には言えない。定期メンテナンスや消耗品交換等で費用は発生するが、装置の簡略化や点検回数の減少等で経費節減を図っていきたい。
E 委員	上下水道局内で管理している全ての施設が監視対象となっているのか。	上下 水道局	今回の更新工事により、上下水道事業と簡易水道事業の全ての施設が監視対象となる。
C 委員	今回の更新工事で、簡易水道への監視機能は強まるのか。	上下 水道局	簡易水道事業の維持管理・安全性が向上する。これまでは中央制御できなかった部分についても、中央制御が可能になる。